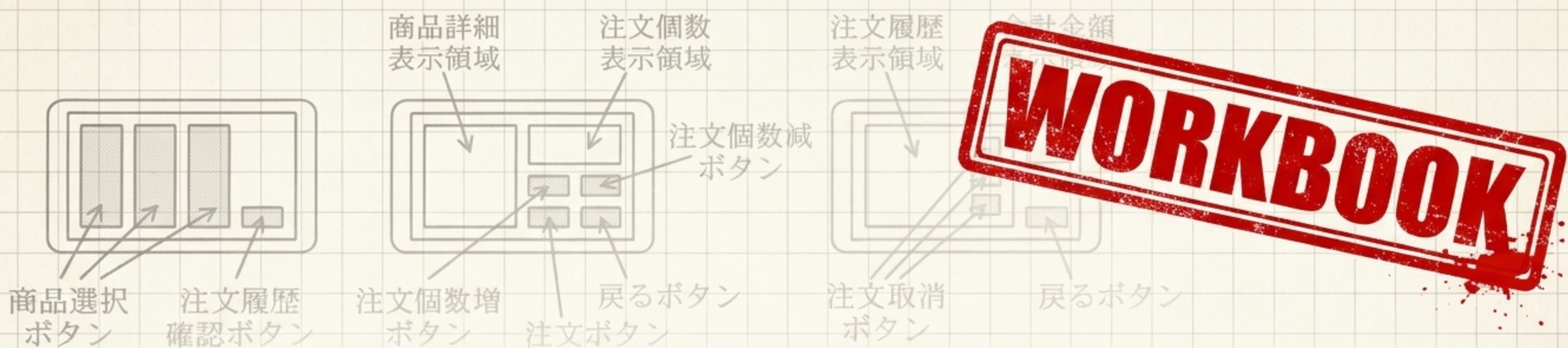




応用情報技術者試験 午後問7 (平成28年春期)

設問2 徹底攻略ガイド

【解答なし・ヒント限定版】
思考プロセスを鍛えるワークブック

商品選択
ボタン 注文履歴
確認ボタン

(a) 商品選択画面

ボタン 注文ボタン

(b) 注文画面

注文履歴
ボタン 注文履歴
確認ボタン 注文履歴
確認ボタン 注文履歴
確認ボタン

(c) 履歴画面

この資料の目的： あなたが「自力で正解にたどり着く」ための思考回路を作ること。



【ルール1】正解ゼロ

最終的な「解答」は一切記載していません。



【ルール2】ヒント最大

仕様書と図表を読み解くための「視点」を大量に提供します。



【ルール3】自力で完結

提示される証拠（ヒント）を繋ぎ合わせ、あなた自身の力でパズルを完成させてください。

設問2 図3中の下線①について、(1)，(2)に答えよ。

(1) 通知してきたタスク名を答えよ。

(2) 通知された情報を答えよ。

【Target 1：誰が？】
通知してきた「タスク名」
を特定せよ。（問1）

【Target 2：何を？】
通知された「情報」の中身
を推理せよ。（問2）

現場（図3）の下線①に隠された2つの謎を解明するミッションです。

前提知識：システム内での「情報のリレー」

利用者が画面に触れるという「物理的な動き」は、イベントドリブン方式のOS内で「タスクからタスクへのバケツリレー」として運ばれます。

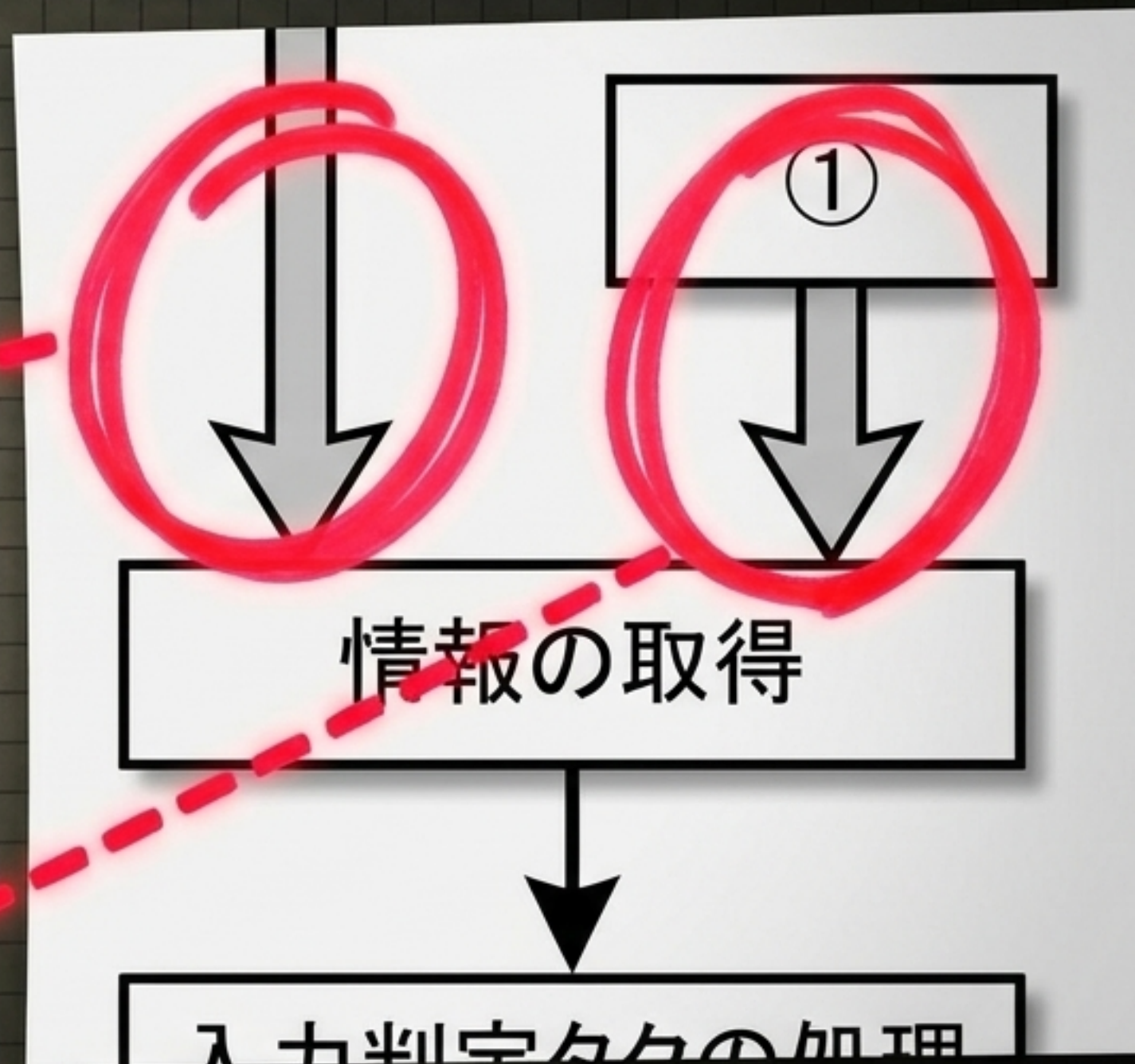


【Target 1 捜査】情報の合流地点に注目せよ

図3（入力判定タスクの処理）のスタート直後を観察してください。
処理を進めるための「材料」として、2つのルートから情報を取り込んでいます。

▶ ルートA: 「画面表示タスク」
からの画面情報

▶ ルートB: 「__①__」からの情報



【Target 1 捜査】仕様書の「証言」を読み解く

情報処理試験の鉄則：「図（フロー）で行われていることは、必ず表（仕様書）に文章で書かれている」

入力判定タスク

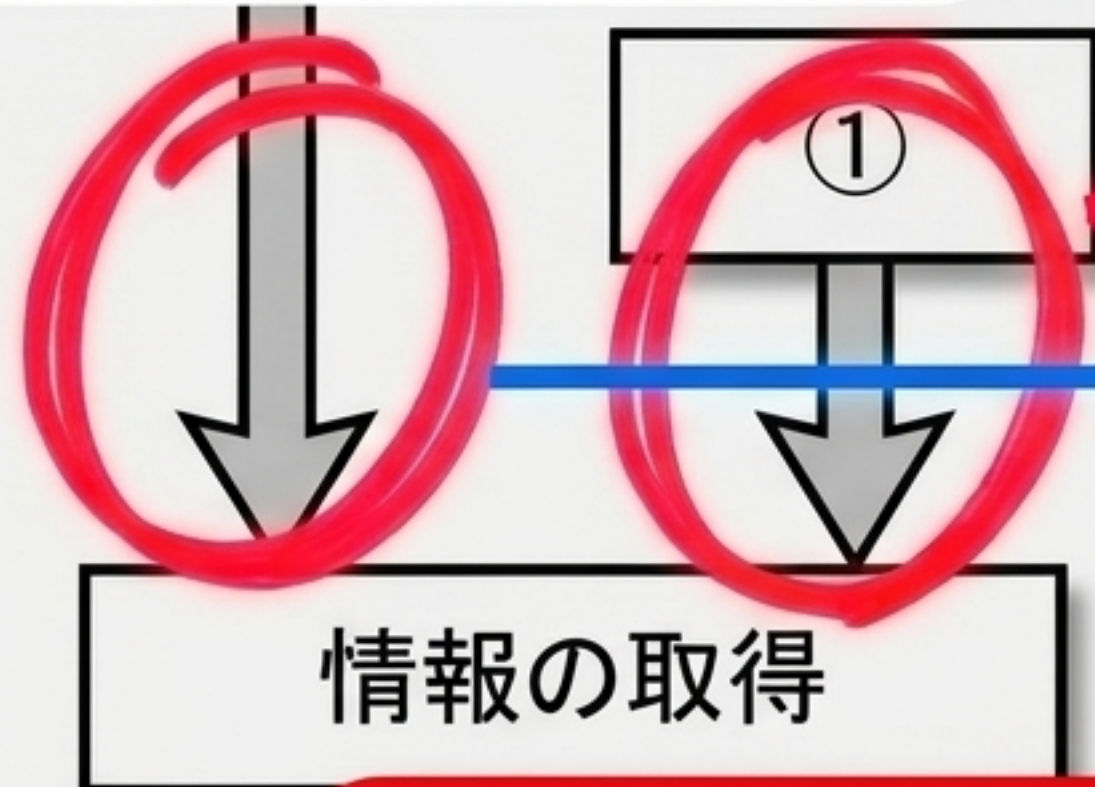
○○○○○タスクから通知された情報と、画面表示タスクから通知された画面情報を基に、タッチの有効性を判断する。

表2の入力判定タスクの機能概要には、2つのタスクからの入力が明記されています。

【Target 1 結論】 図と表を照合する（クロスチェック）

2つの証拠を重ね合わせれば、答えは自ずと浮かび上がります。

▶ ルートA: 「画面表示タスク」
からの画面情報



【 ????? タスク 】 から
通知された情報と、
【 画面表示タスク 】 から通
知された画面情報を基に…

片方が「画面表示タスク」であるなら、
もう片方の下線①に入るタスク名は何でしょうか？



チェックポイント：Target 1 突破！

「誰（どのタスク）」から送られてきたかは、もう推測できましたね。



次のミッション：Target 2

では、そのタスクは「何（どんな情報）」を入力判定タスクに送ってきたのでしょうか？

ヒントの鉄則：「何を受け取ったかを知りたいければ、その後で何を計算しているかを見よ」

【Target 2 捜査】後続の処理から「必要なデータ」を逆算する

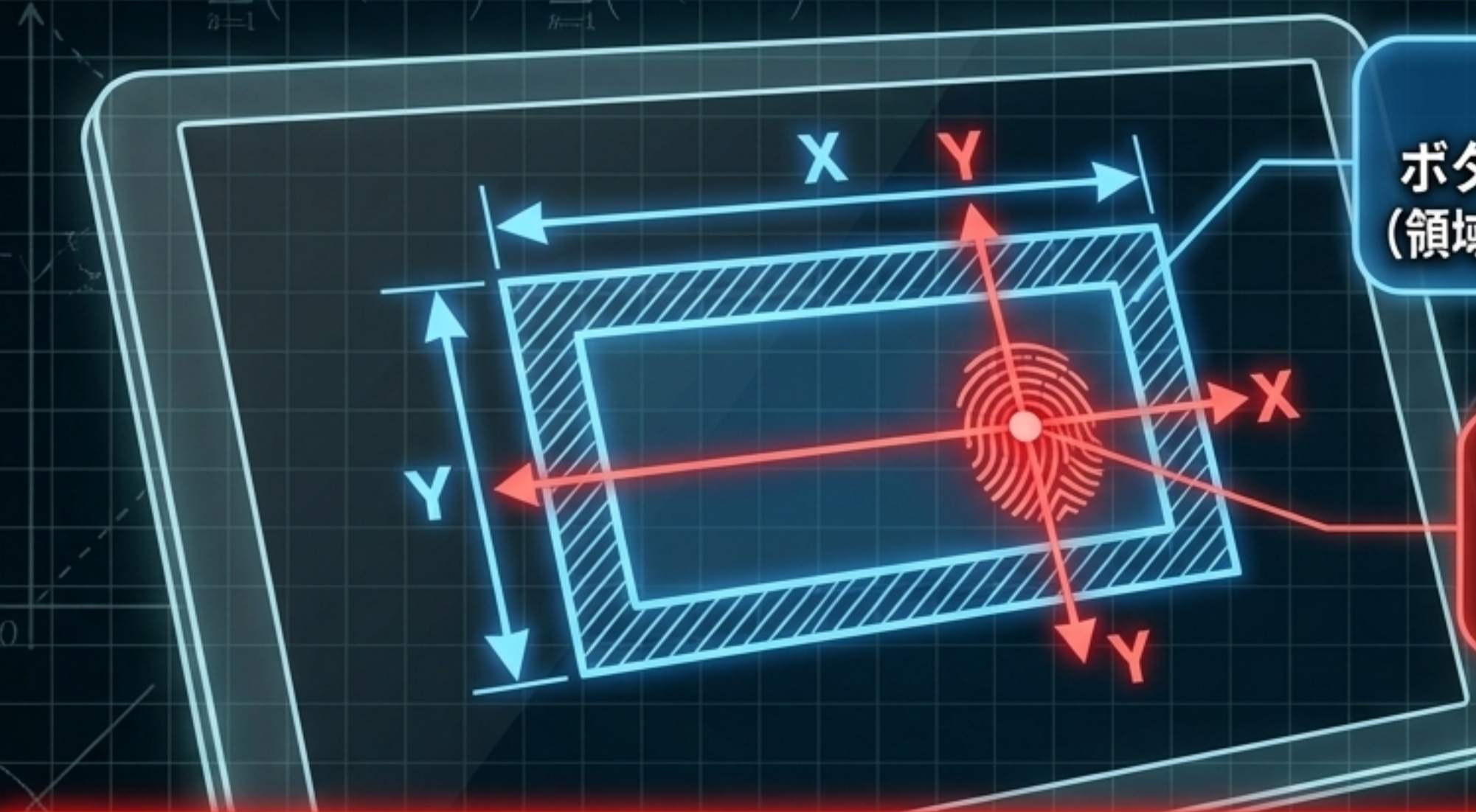
入力判定タスクは、中盤で非常に重要な「判定」を行っています。



システムが
このYES/NOを
判定するためには、
手元にどんなデータが
揃っている必要がある
でしょうか？

【Target 2 捜査】「接触」の幾何学

「ボタンの座標内か」を数学的に判断するには、2つの材料が必要です。



【材料A】

ボタンが画面上のどこにあるか？
(領域データ＝画面表示タスクが提供)

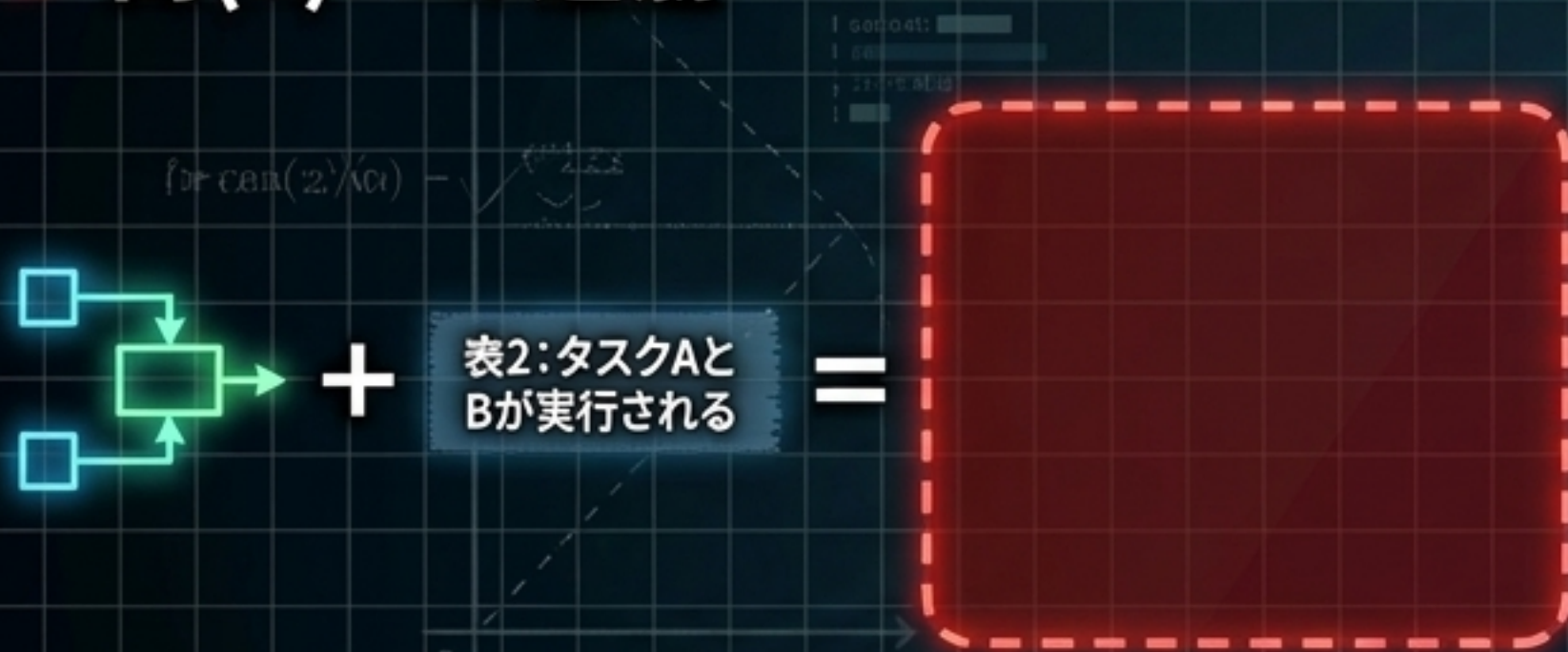
【材料B】

利用者が画面の
「どこに」触れたか？

Target 1で特定したハードウェア側のタスクは、
この【材料B】として何を伝えなければならないでしょうか？

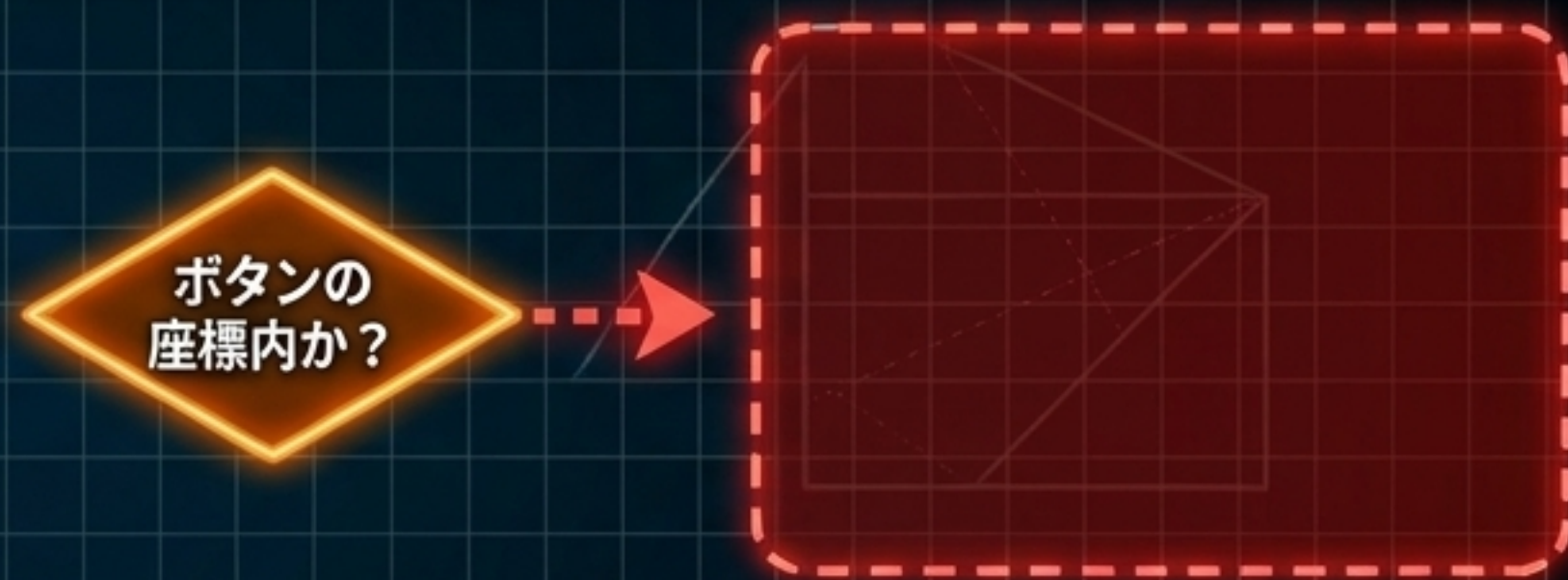
最終推理ファイルまとめ

▶ 問(1)への道筋



2つの入力ルートを持つ図3と、2つのタスクを明記した表2の文章をクロスチェックする。

▶ 問(2)への道筋



判定を成立させるために、ハードウェア側から渡されるべき「物理的な位置データ」を想像する。

すべてのピースは揃いました。解答用紙に、あなたの導き出した答えを書き込みましょう!